



4 月 号 平成 31 年 4 月 5 日 発行

# 荇田小だより

横浜市都筑区荇田南町 6 9 4 番地 [TEL.911-0149]



「人・自然・まち」

子どもたちがかかわり合うことに楽しさを感じる

校長 伊藤 智樹 (いとうともしき)

本日はお子様の入学、そして進級、おめでとうございます。4月5日、桜の花びらのように緊張に頬を桜色に染めたピカピカの1年生58を迎え、荇田小学校は全校児童318名でスタートしました。教職員も新たなメンバーが着任し、私も澤田前校長の後を受け、今年度荇田小学校に赴任いたしました。今年度は「令和元年」の節目の年でもあります。教職員一同、気持ちを一つにして新しいスタートをきりたいと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。

私がこれまで大切にしてきたことが二つあります。一つは「子どもたちが人や社会にかかわり合うことに楽しさを感じる教育活動」、二つ目は「地域・保護者と学校が協働して学校を創っていくこと」です。

来年度(2020年度)は、新学習指導要領の完全実施の年にあたり、今年度は完全実施に向けた移行・準備期間となります。新学習指導要領では、2030年の社会を見据えて子どもたちに育成する資質・能力として次の3つがあげられています。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養</li> <li>② 生きて働く知識・技能の習得</li> <li>③ 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成</li> </ul> |
|---|



2030年の社会を考えたときに課題に対して必ずしも全て答えがあるわけではありません。その答えを自分たちで創っていくこともあるかと思います。「自分はこう思うのだがこの考えでどうだろうか」と考えたり、他の人の考え方を聞いてよりよいものを目指したりすることが重要となってきます。

荇田小学校の教育目標実現に向けて教育活動を積み重ねていくことが上記の資質・能力の育成につながると思います。

学校教育は、子どもたちが人間としてよりよく生きていくための基礎基本を身に付ける場だと思えます。時代の変化に対応した教育内容を取り入れながらも、米作りをはじめとした荇田小学校の伝統を守り、地域を核にした教育活動を大切にしていきたいと考えています。そして荇田小学校の学校教育目標の合言葉でもある『つくろう明日 わたしはチャレンジャー』の子どもをこれからも育てていきたいと思えます。どうぞ変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 荇田小学校の学校教育目標

「つくろう明日 わたしはチャレンジャー」

【知】自ら考え、よりよく解決する力を育みます。

【徳】自分を大切にし、人を思いやる心を育みます。

【体・徳】豊かな体験を通して、健やかな心と体を育みます。

【公】つながりを大切にし、よりよく生きようとする力を育みます。

【開】コミュニケーションを通して互いの違いを理解し、ともに生きていく力を育みます。

